

“共創”からみる 持続可能な 北海道の医療



定員

50名

オンライン参加
200名

参加費

無料

要事前登録

趣旨

医療の集約化や効率化の視点をもつことは、医療サービスの縮小を意味するものではなく、新しい社会の姿に適合した医療提供体制を創造することと言えます。「地域包括ケアシステム」の実現に向けては、医療機関が単独で完結するのではなく、アライアンス等による“共創”がますます重要になっていくと考えられます。本シンポジウムでは、地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するために制度化された地域医療連携推進法人に着目し、2020年9月1日に北海道で認定された「上川北部医療連携推進機構」の事例を基に、北海道の医療機関の“共創”からみる持続可能な医療について議論します。

登壇者



佐古 和廣

地域医療連携推進法人上川北部医療連携推進機構 代表
理事(元名寄市立総合病院院長・前名寄市立大学長・北海
道医師会副会長、国立大学法人旭川医科大学理事)



民谷 健太郎

厚生労働省
医系技官



小笠原 克彦

北海道大学大学院
保健科学研究所
教授

プログラム

開会挨拶 穴沢 眞 (小樽商科大学学長)

講演①

テーマ 「人口減少・高齢化時代の
医療・介護連携」

佐古 和廣氏

講演②

テーマ 「医療機関連携の現状と課題
(行政の視点)」

民谷 健太郎氏

ディスカッション

テーマ 「北海道における医療・介護
情報の共有システムの在り方」

ファシリテーター 小笠原 克彦氏

HUHMAプログラムのご案内

藤原 健祐 (小樽商科大学ビジネススクール准教授)

HUHMAとは？

北海道において複数大学で提供する“病院経営管理プログラム”です。
小樽商科大学の履修証明プログラムとして開講されています。

パーパス 北海道の持続可能な地域医療を支える

ミッション 医療機関経営における「10年後のリーダーを育てる」

詳細はこちらを検索

小樽商大 HUHMA



お問い合わせ

国立大学法人 北海道国立大学機構
小樽商科大学
グローバル戦略推進センター
産官学連携推進部門 担当 嶋田

〒047-8501 小樽市緑3-5-21 TEL 0134-27-5290 FAX 0134-27-5293

E-mail re-current-hm@office.otaru-uc.ac.jp

申込みは
こちらから!

